



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月10日

上場会社名 バーチャレクス・ホールディングス株式会社
 コード番号 6193 URL <https://www.vx-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 栄樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 黒田 勝
 定時株主総会開催予定日 2019年6月26日 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

上場取引所 東

TEL 03-3578-5300

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	6,177	12.1	75	58.7	70	65.5	20	162.7
2018年3月期	5,509	23.9	47	79.1	42	80.9	7	93.5

(注) 包括利益 2019年3月期 22百万円 (184.9%) 2018年3月期 8百万円 (93.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	7.06	7.00	2.1	2.8	1.2
2018年3月期	2.68	2.66	0.8	1.7	0.9

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	2,764	988	35.7	339.11
2018年3月期	2,297	983	42.8	334.68

(参考) 自己資本 2019年3月期 988百万円 2018年3月期 983百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	145	479	285	315
2018年3月期	88	205	408	363

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		0.00	0.00			
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,950	1.0	80		80		40		13.73
通期	6,250	1.2	80	6.6	80	13.2	25	20.7	8.58

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1 社 (社名) VXアクト株式会社、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	2,941,153 株	2018年3月期	2,937,953 株
期末自己株式数	2019年3月期	27,500 株	2018年3月期	株
期中平均株式数	2019年3月期	2,935,005 株	2018年3月期	2,937,953 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	288	85.1	75	10.4	104	68.1	82	294.6
2018年3月期	1,965	44.3	68	33.9	62	37.1	20	52.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	28.15	27.90
2018年3月期	7.13	7.07

2017年10月2日付で持株会社体制へ移行するべく新設分割を実施し、すべての事業は新設会社である子会社のパーチャレクス・コンサルティングへ承継しております。2018年3月期の数値には2017年10月2日～2018年3月31日の事業承継後のものを含んでおります。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2019年3月期	1,834	985	985	918	53.7	338.28	312.79	
2018年3月期	1,405	918	918	918	65.4	312.79	312.79	

(参考) 自己資本 2019年3月期 985百万円 2018年3月期 918百万円

2017年10月2日付で持株会社体制へ移行するべく新設分割を実施し、すべての事業は新設会社である子会社のパーチャレクス・コンサルティングへ承継しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)P3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、安定した企業収益を背景として、個人消費におきましても、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。世界経済は米中通商問題などが世界経済に与える影響や不確実性、金融資本市場の変動など先行き不透明な状況であります。

このような状況の下、当社グループはテクノロジーを基盤として、バーチャレクス・コンサルティング株式会社はCRMをビジネスのドメインに、株式会社タイムインターメディアはWeb、文教・教育などをビジネスのフィールドとして、当社グループの持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を行ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は6,177,798千円（前連結会計年度比12.1%増）、営業利益は75,047千円（同58.7%増）、経常利益は70,687千円（同65.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は20,713千円（同162.7%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

IT&コンサルティング事業におきましては、IT&コンサルティング事業では、バーチャレクス・コンサルティング株式会社でのコンサルティングサービス、CRM製品提供が新規案件を着実に獲得する等、順調に推移しました。この結果、売上高は3,308,631千円（前連結会計年度比8.1%増）、営業利益は456,878千円（同12.3%増）となりました。

アウトソーシング事業におきましては、ストックビジネスとして着実に成長しております。以上の結果、売上高は2,869,167千円（前連結会計年度比17.2%増）、営業利益は496,321千円（同19.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末より466,995千円増加し、2,764,207千円となりました。これは主に、前連結会計年度末より投資有価証券が380,277千円増加したこと等によるものであります。

(負債の部)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末より462,218千円増加し、1,776,149千円となりました。これは主に、借入金が増加した304,395千円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産合計は、親会社株主に帰属する当期純利益20,713千円を計上したこと等により、前連結会計年度末より4,777千円増加し純資産は988,058千円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ48,673千円減少し、期末残高は315,249千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は、145,357千円（前連結会計年度は88,296千円の支出）であります。これは主に、税金等調整前当期純利益67,865千円、減価償却費が148,115千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、479,408千円（前連結会計年度は205,668千円の支出）であります。これは主に、投資有価証券の取得による支出376,875千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得た資金は、285,378千円（前連結会計年度は408,367千円の支出）であります。これは主に、長期借入れによる収入300,000千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内経済は引き続き緩やかな景気回復が期待される一方、世界経済はより一層不透明な経営環境が続くと予想されます。

このような環境の中、翌連結会計年度（2020年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高6,250百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益80百万円（同6.6%増）、経常利益80百万円（同13.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益25百万円（同20.7%増）を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であること、また国内の同業他社との比較可能性を確保するため、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	363,922	315,249
受取手形及び売掛金	755,559	835,324
開発事業未収入金	101,098	229,217
仕掛品	9,788	54,824
前払費用	71,633	72,475
その他	93,725	35,841
流動資産合計	1,395,728	1,542,932
固定資産		
有形固定資産		
建物	124,298	130,669
車両運搬具	16,737	18,497
工具、器具及び備品	159,302	174,328
リース資産	—	10,044
減価償却累計額	△212,287	△236,741
有形固定資産合計	88,050	96,797
無形固定資産		
ソフトウェア	230,893	136,659
ソフトウェア仮勘定	—	33,778
のれん	254,702	225,868
電話加入権	3,820	3,820
無形固定資産合計	489,416	400,126
投資その他の資産		
投資有価証券	48,787	429,064
関係会社株式	12,388	12,388
敷金及び保証金	96,541	94,469
保険積立金	19,294	19,594
繰延税金資産	127,460	139,482
その他	19,544	29,352
投資その他の資産合計	324,017	724,351
固定資産合計	901,484	1,221,275
資産合計	2,297,212	2,764,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	196,391	216,897
短期借入金	100,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	112,034	138,280
未払金	214,255	254,743
未払費用	39,099	41,099
リース債務	—	1,807
未払法人税等	13,281	43,085
未払消費税等	85,291	92,020
未払事業所税	5,622	5,673
前受金	24,818	33,272
預り金	60,901	73,634
賞与引当金	122,501	149,568
流動負債合計	974,198	1,270,084
固定負債		
長期借入金	327,925	486,074
リース債務	—	8,135
資産除去債務	11,807	11,854
固定負債合計	339,732	506,064
負債合計	1,313,930	1,776,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	597,029	597,861
資本剰余金	300,583	301,415
利益剰余金	85,268	105,982
自己株式	—	△19,776
株主資本合計	982,882	985,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	398	2,574
その他の包括利益累計額合計	398	2,574
純資産合計	983,281	988,058
負債純資産合計	2,297,212	2,764,207

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	5,509,273	6,177,798
売上原価	4,308,112	4,790,458
売上総利益	1,201,161	1,387,340
販売費及び一般管理費	1,153,865	1,312,292
営業利益	47,295	75,047
営業外収益		
受取利息及び配当金	119	157
助成金収入	8,188	—
投資事業組合運用益	—	3,395
受取手数料	—	1,380
その他	387	718
営業外収益合計	8,694	5,652
営業外費用		
支払利息	6,701	4,026
支払手数料	2,968	1,422
投資事業組合運用損	3,329	3,130
損害賠償金	—	1,009
その他	274	422
営業外費用合計	13,273	10,012
経常利益	42,716	70,687
特別利益		
固定資産売却益	—	919
特別利益合計	—	919
特別損失		
固定資産除却損	210	206
減損損失	—	3,535
特別損失合計	210	3,742
税金等調整前当期純利益	42,506	67,865
法人税、住民税及び事業税	28,064	60,132
法人税等調整額	6,557	△12,981
法人税等合計	34,622	47,151
当期純利益	7,884	20,713
親会社株主に帰属する当期純利益	7,884	20,713

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	7,884	20,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148	2,175
その他の包括利益合計	148	2,175
包括利益	8,033	22,889
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,033	22,889
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	597,029	535,699	△157,730	974,998	249	975,248
当期変動額						
欠損填補		△235,115	235,115	—		—
親会社株主に帰属する当期純利益			7,884	7,884		7,884
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					148	148
当期変動額合計	—	△235,115	242,999	7,884	148	8,033
当期末残高	597,029	300,583	85,268	982,882	398	983,281

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	597,029	300,583	85,268	—	982,882	398	983,281
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	832	832			1,664		1,664
自己株式の取得				△19,776	△19,776		△19,776
親会社株主に帰属する当期純利益			20,713		20,713		20,713
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						2,175	2,175
当期変動額合計	832	832	20,713	△19,776	2,601	2,175	4,777
当期末残高	597,861	301,415	105,982	△19,776	985,484	2,574	988,058

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	42,506	67,865
減価償却費	116,848	148,115
減損損失	—	3,535
資産除去費用	5,850	5,850
のれん償却額	28,834	28,834
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,003	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,870	27,067
受取利息及び受取配当金	△119	△157
支払利息	6,701	4,026
支払手数料	2,968	1,422
投資事業組合運用損益 (△は益)	3,329	△265
固定資産除売却損益 (△は益)	210	△713
売上債権の増減額 (△は増加)	△83,780	△79,765
開発事業未収入金の増減額 (△は増加)	△63,630	△128,118
たな卸資産の増減額 (△は増加)	66,244	△45,035
前払費用の増減額 (△は増加)	△19,595	△841
仕入債務の増減額 (△は減少)	△78,123	20,506
未払費用の増減額 (△は減少)	3,757	2,113
未払消費税等の増減額 (△は減少)	23,212	7,532
前受金の増減額 (△は減少)	△50,729	8,454
預り金の増減額 (△は減少)	31,970	12,732
その他	△69,229	62,132
小計	△30,907	145,292
利息及び配当金の受取額	119	24
利息の支払額	△6,766	△4,088
手数料の支払額	△2,968	△1,422
法人税等の支払額	△47,773	△21,589
法人税等の還付額	—	27,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	△88,296	145,357
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△46,246	△32,486
有形固定資産の売却による収入	—	920
無形固定資産の取得による支出	△89,733	△59,510
投資有価証券の取得による支出	△45,174	△376,875
貸付金の回収による収入	660	312
短期貸付けによる支出	△14,069	△7,737
敷金及び保証金の差入による支出	△2,316	△3,731
定期預金の預入による支出	△3,300	—
定期預金の払戻による収入	7,200	—
子会社株式の取得による支出	△12,388	—
保険積立金の積立による支出	△299	△299
その他	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205,668	△479,408
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△149,721	120,000
長期借入れによる収入	160,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△413,422	△115,605
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,224	△903
株式の発行による収入	—	1,664
自己株式の取得による支出	—	△19,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△408,367	285,378
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△702,332	△48,673
現金及び現金同等物の期首残高	1,066,254	363,922
現金及び現金同等物の期末残高	363,922	315,249

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が66,715千円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が66,715千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会及び経営会議が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にコンサルティングサービス、CRM製品、CRM ITサービスを提供する「IT&コンサルティング事業」と、主にコンタクトセンターを中心としたアウトソーシングサービスを提供する「アウトソーシング事業」を展開しております。

当社グループは、これら「IT&コンサルティング事業」及び「アウトソーシング事業」の2つを報告セグメントとしており、事業別のセグメントから構成されております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,061,894	2,447,378	5,509,273	5,509,273
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,061,894	2,447,378	5,509,273	5,509,273
セグメント利益	406,755	416,947	823,702	823,702

(注) セグメント資産及びセグメント負債の金額は当社の最高経営意思決定機関において定期的に提供・使用していないため記載していません。

当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,308,631	2,869,167	6,177,798	6,177,798
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,308,631	2,869,167	6,177,798	6,177,798
セグメント利益	456,878	496,321	953,199	953,199

(注) セグメント資産及びセグメント負債の金額は当社の最高経営意思決定機関において定期的に提供・使用していないため記載しておりません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,509,273	6,177,798
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の売上高	5,509,273	6,177,798

(単位: 千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	823,702	953,199
全社費用 (注)	△776,407	△878,151
連結財務諸表の営業利益	47,295	75,047

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連する主な報告セグメント名
アスクル株式会社	662,643	アウトソーシング事業

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】
 前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）
 該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	全社・消去	合計
減損損失	3,535	—	—	3,535

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位：千円)

	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	全社・消去	合計
当期償却額	28,834	—	—	28,834
当期末残高	254,702	—	—	254,702

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	全社・消去	合計
当期償却額	28,834	—	—	28,834
当期末残高	225,868	—	—	225,868

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	334.68円	339.11円
1株当たり当期純利益金額	2.68円	7.06円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	2.66円	7.00円

(注) 2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	7,884	20,713
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	7,884	20,713
期中平均株式数(株)	2,937,953	2,935,005
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	25,562	25,939
(うち新株予約権(株))	(25,562)	(25,939)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	第2回新株予約権 (新株予約権の数260個)	第2回新株予約権 (新株予約権の数226個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。